

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年11月12日第150号—

<目次>

●福田市政の3期12年間～わたしたちのまち川崎で今こんなことがおきています

▲お知らせコーナー

- ① 11/8より、学校給食無償化署名の予定
- ② 11/13 ぜん息患者医療費救済制度を求める日産本社前行動
- ③ 11/22 #チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい
- ④ 11/23 NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所10周年記念イベント
- ⑤ 11/26 市議会開会日・第4回市民要求実現アクション
- ⑥ 11/29 講演会「総選挙の結果と社会保障運動」
- ⑦ 11/29 から京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」
- ⑧ 12/1 第33回子どもの未来をひらく川崎集会
- ⑨ 12/14 ゆめシネマ「シェアの法則」

★編集後記

●福田市政の3期12年間～わたしたちのまち川崎で今こんなことがおきています

メルマガ新しい川崎が、150号となりました。

2021年市長選挙を終えて、ネット選挙の立ち遅れを強く感じたメンバーで2022年元旦から発行を始めました。

この2年11か月に取り上げた記事の蓄積を、2025年市長選挙で有効に使いたいと思います。

第1号からのメルマガは、民主市政をつくる会のホームページで読むことができます。

(検索機能を活用すると同一テーマで多数の記事がみつきり、便利です。)

<市民の声を聞かない強行政治、さようなら>

総選挙の結果、与党が過半数割れになり、与党が議論はそっちのけで悪法を強行採決したり、さらに、国会を無視して内閣だけで悪政を強行するという政治は終わらせることができる可能性が生まれました。

次は、川崎市政の与党オール体制を変える番です。

市民が困ったこと、やめてほしいことを相談し、市議会や市政に要望を出しても、話は聞くが、結論は市民要望を切り捨てる。

そんな川崎市政の政治風景を変える、それが 2025 年川崎市長選挙です。

川崎民主市政をつくる会は、福田市政の 3 期 12 年間とは何だったのかを可視化する作業を開始しました。

「福田市政の 3 期 12 年間大問題マップ」づくりです。

この第 1 次案を、11 月 22 日に行われる「#チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい」で発表する準備をしています。

今回は、それに先立ち、大問題として選んだ 16 のトピックを一举、紹介します。

<福田市政の 3 期 12 年間大問題マップ 試案>

① 大量の教員未配置で 学校が悲鳴

2024 年度は、140 人を超える教員が年度初めから学校に配置されずにスタート。

9 月には、171 人の未配置に増加

② 小児医療費助成の遅れはワーストワン

中学卒までは川崎市と横浜市のみ。小学生からの「一部負担金 500 円」の窓口負担は川崎市だけ。

③ 園庭のない保育園が当たり前

公園までの移動は、子どもも保母さんも大変です。

④ 市営住宅新規建設なし

川崎市は、市営住宅を増やさない方針です。

「住まいは人権」の考えはありません。

⑤ 公共の役割を捨て、民間活用推進

安易に公共サービス事業の丸投げをして委託費を切り詰めたりすれば、税金の無駄遣いや公共サービスの低下につながります。

⑥ 等々力緑地の樹木大量伐採

等々力緑地再整備の事業計画では、緑地の貴重な樹木約 800 本が伐採される計画が明らかに

⑦ **多摩川決壊の危険対策は、進まず**

JR東海道線橋梁付近の堤防もしここが決壊すれば、数時間で幸区・川崎区のほとんどが3mも浸水します。

早急に改修を！

⑧ **中小規模事業者支援に冷たく、大企業には税金を大盤ふるまい**

川崎市の2024年度の中小企業支援関連予算は、16億357万円で、一般会計のわずか0.2%に過ぎません。

臨海部の大規模事業には2000億円も支出します。

⑨ **リニア大深度トンネル工事受入れ**

リニア新幹線の川崎市内の大深度トンネル工事が市内2カ所で強行されています。

トンネル工事の掘削土を東扇島堀込部の埋立に受入れ、JR東海のリニア工事に協力しています。

⑩ **民間企業大もうけの駅前再開発**

武蔵小杉、鷺沼、登戸では、建物の高層化と多額の税金投入で、開発業者は大きな利益をあげる一方で、周辺住民の生活環境悪化が止まりません、

⑪ **西加瀬に巨大物流倉庫**

静かな住宅密集地の真ん中の工場跡地に24時間フル稼働の物流倉庫の建設を大和ハウスが計画。

川崎市は、ゴーサインを出す。

⑫ **特養老人ホーム 新規建設計画なし**

川崎市の特養ホームは待機者が2024年4月1日現在2177人。

そのうち要介護5の方が476人、

⑬ **ぜん息患者助成制度廃止**

福田市長は、「成人ぜん息患者医療費助成条例」と「小児ぜん息患者医療費支給条例」の廃止を強行

⑭ **自衛隊に個人情報を提供**

川崎市は2017年度から、18歳と22歳の名簿を自衛隊に提出しています。

⑮コンビナート上空の飛行再開を容認

2020年3月から川崎区殿町地域住宅街と石油コンビナート上空への低空飛行が開始されました。

飛行機部品の落下など事故が起きた時は、大惨事になることは明らかです。

⑯臨海部扇島に水素基地

～世界の脱炭素の流れに立ち遅れ

川崎市は、扇島に水素戦略基地を計画。

この水素発電は生成、輸送過程でCO2をたくさん排出します。

<みんなで、福田市政の大問題マップをつくりましょう。>

大問題マップ作りチームは、「私たちの税金で行われている川崎市政のこと、みんなで考えてみませんか？」とみなさんに呼びかけています。

ぜひ、11月22日(金)18時半からエポック中原「#チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい」にご参加ください。

また、ホームページへにも自由に意見を投稿してください。(→info@newkawasaki.jp)

★お知らせコーナー

①学校給食無償化署名の予定

a.11月8日(金)、13日(水)、21日(木)10:30～11:30 川崎駅ラゾーナ連絡通路

b.11月9日(土)2時半～3時半 溝口駅前ペDESTリアンデッキ

c.11月10日(日)11:00～12:00 等々力公園入口

※ どなたでも参加できます。連絡先 090-7830-8030(市古博一)

②ぜん息患者医療費救済制度を求める日産本社前行動

11/13(水)12:00-13:00

場所 日産本社前(横浜駅東口から「そごう」横を通り、徒歩7分)

よびかけ 川崎公害患者と家族の会

[詳しくはこちら](#)

③#チェンジ川崎をめざす学習と交流のつどい

11月22日(金)18:30～20:30

会場 エポック中原大会議室 (武蔵中原駅下車3分)

参加無料

主催 川崎民主市政をつくる会

連絡先 市古博一(090-7830-8030)

[詳しくはこちら](#)

④ NPO 法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所 10周年記念イベント

11月23日(土)16:00～18:00

会場 川崎市国際交流センター

記念講演 市民の電気で社会を変えよう 講師 竹村英明氏(市民電力連絡会会長)

参加無料

連絡先 川岸・川崎合同法律事務所(044-211-0121)

[詳しくはこちら](#)

⑤市議会開会日・第4回市民要求実現アクション

第4回市議会の開会日に合わせて、市民要求を市長、市議、市民にアピールします。また、市民要求の交流の場にもしていきます。

11月26日(火)12:00～13:00

場所 川崎市役所前通路

よびかけ いのちと暮らしを守る川崎市民連絡会(090-7830-8030・市古)

[詳しくはこちら](#)

⑥講演会「総選挙の結果と社会保障運動」

第31回川崎市社保協定期総会記念講演

11/29(金)14:00～

会場 かわさきゆめホール(JR向河原駅下車5分)

講師 寺尾正之氏(日本医療総合研究所研究・研修委員)

連絡先 川崎市社会保障推進協議会(090-4829-2414・光野)

[詳しくはこちら](#)

⑦京浜協同劇団公演「黒と白のピエタ」

11/29(金)～12/8(日)まで全ての席が満席となり、追加公演を決定しました。

12/6(金)15時を追加しました。

詳しくはHPで。

会場:スペース京浜

前売り券:一般 3,500 円、障がい者・学生 2,000 円

当日券:各 500 円増

キャンセル待ちを受け付けます。

関係者、劇団まで直接お問い合わせください。

[公式サイト](#)

[コリッチ・チケット](#)

044-511-4951

⑧第33回子どもの未来をひらく川崎集会

12/1(日)10:00~16:00

会場 川崎市立高津小学校

午前 講演会「子ども、若者の豊かな成長とは」講師 西野博之氏(フリースペースたまりば理事長)

午後 11分科会

主催 子どもの未来をひらく川崎集会実行委員会

後援 川崎市/川崎市教育委員会/他

参加費 600円(高校生まで無料)

連絡先 船津了(044-434-4290)

[詳しくはこちら](#)

⑨ゆめシネマ「シェアの法則」

12/14(土)かわさきゆめホール

小野武彦さん、岩瀬顕子さんのトーク・サイン会があります。

① 9時

アフタートーク・小野・岩瀬サイン会

② 12時

アフタートーク・小野・岩瀬サイン会

③ 15時

プレトーク・小野。岩瀬

④ 18時

プレートク・岩瀬

前売予約:1000円 当日:1500円

学生・障がい者 500円

申込み 044-433-3003 ゆめホール

cinema@kawasakiyume/com

★編集後記

「ゆめパのじかん」を観て

11月4日に、第33回子どもの未来をひらく川崎集会(12月1日に高津小学校で開催)プレ企画の映画「ゆめパのじかん」を観てきました。

ふだん、私が目にする光景とのあまりの違いに驚きました。

園庭のない保育園児たちが保育士に安全を守られながら道路を歩いている光景や、数少ない公園へ移動してから保育士から事前注意をうけて遊んでいる光景は、私の日常です。

また、放課後も塾のカバンを背負って出かけていく小学生たち。

土曜や日曜には、部活の練習で他の中学校へ移動している中学生集団もよく見かける光景です。それだけに、午後の公園で、数人の子どもたちが歓声を上げて遊んでいる光景に出会うとほっとします。

しかし、映画「ゆめパのじかん」が映し出す子どもたちの姿はまるで違っていました。

泥水の中で、泥んこになって遊ぶこども、滑り台からその泥水に飛び込み、大歓声をあげる子どもたち。

この川崎子ども夢パークで子どもたちは「何をしてもいい、何もしなくてもいい、きみは、きみのままでいい。」のです。

金槌やのこぎりを使って、好きなものを作る。

のこぎりを引いた場面で、思わず、心の中で「あぶない！」と叫びそうな一瞬もありました。

しかし、子どもたちは、自由な時間と自由な場のなかで、ぐんぐんと技量を高めていきます。

年に一度のお祭りでは、子どもたちが作った出店(なんと3階建てもありました)で子どもたちが作った品物が売られていました。

2年前に観た映画「夢見る小学校」での子どもたちのたくましく成長する姿と重なりました。

大人がまずやることは、自由な時間と自由な場を、子どもたちにプレゼントすることだと思う一方で、現実との落差に胸が痛みます。

川崎市子ども夢パークは、工場跡地 1 万平方メートルを川崎市が買い入れて作りました。

「川崎市子どもの権利に関する条例」制定を記念して建設された「川崎市子ども夢パーク」は、高橋市長時代に始まり、完成したのは阿部市長の時でした。

西加瀬の巨大物流倉庫を考える住民の会の方と意気投合しました。

「西加瀬の三菱ふそう跡地 10 万平方メートルの 10 分の 1 で、子ども夢パーク No.2 ができるじゃないか！福田市長さん！」と。(H)

川崎市子どもの権利に関する条例

川崎市子ども夢パーク

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆**チェンジかわさき!**☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/Mc0VtsyrSTRJ?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp